

個人記載例①(先端技術の活用、田畑のフル活用)



「ディスカバー農山漁村の宝」応募用紙（個人用）

都道府県名（必須）	〇〇県	市町村名（必須）	〇〇市
氏名（必須）	〇〇〇〇		
1. キャッチフレーズ（必須）			
植物工場から最高に美味しい野菜を家庭へ			
2. 活動のきっかけ（必須）			
<p>地元でUターンした際、農業従事者の高齢化や担い手不足により、長年受け継がれてきた農地が十分に活用されなくなっている現状に危機感を抱いた。特に〇〇の管理は熟練者の現地確認が必要となるなど、作業負担が課題だった。地域農業を次世代につなぐため、「少ない人員でも持続可能な農業を実現したい」と考え、AI や〇〇センサーを活用したスマート農業に取り組んだ。</p>			
3. 取組概要（必須）			
<p>人手不足や高齢化による労働力不足の課題解決に向け、〇〇センサーやAI により、データに基づく〇〇を実践し、作業の省力化と収量・品質の向上を実現するとともに、持続可能な農業経営のモデルづくりに取り組んでいる。</p>			
4. 取組の具体的内容及び成果（効果）（必須）			
<p>【デジタル化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇年に事業計画の認定を受け、カフェ&スイーツ工房を整備した。〇〇システムを導入し、〇〇から〇〇へ規模拡大し、商品の販売単価が〇%向上、イベント開始〇年目で〇〇トップを達成した。 ・社内では、建物の規模や形状、〇〇センサーや〇〇器の規格や位置も全て統一を中心に推進した。〇〇に必要なデータをデジタル化・見える化し、管理マニュアルも作成。アーカイブ化した作業・技術記録を管理者全体で共有、現場の状況や数字はタブレットでリアルタイムに把握することで、誰もが同じレベルで〇〇ができる体制を築き、欠品率が〇%から〇%へ低下し、顧客満足度〇%、リピート率〇%、ロコミ評価〇%と向上した。これにより、事業を拡大するとともに、地域住民〇名を新たに雇用し、年〇名ずつ従業員を増やしている。また、加工・販売機能を強化したことで地域の農産物の取扱量が〇%増加し、生産者の所得向上や地域経済の活性化に貢献している。 <p>【AI 解析】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・AI による育成データ解析を活用し、栽培管理の最適化に取り組んでいる。収量〇%、品質〇%向上し、作業時間〇%削減し、自らの実践事例を地域の生産者へ積極的に共有し、地域全体の技術向上や生産性向上に貢献している。 ・AI解析を活用して気象変動に対応した栽培管理を実践し、年間生産量〇%向上し安定生産を実現した。さらに、品質もA級品率〇%向上を達成した。また、その成果を地域の生産者や関係者へ展開することで、農業経営の安定化や担い手確保につながるなど、地域農業全体の競争力強化に貢献している。 <p>【植物工場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・独自の〇〇技術とノウハウで「高歩留・高収量・高回転」を達成し、生産量〇%向上を実現した。AI 制御や〇〇システムの導入による作業の省力化・標準化により、未経験者でも従事しやすい就労環境を整備した。地域住民や高齢者、子育て世代等の雇用創出につながり、地域活性化に貢献している。 ・〇〇システムの導入提案をし、〇〇環境を均一化し、オリジナル養液により収量が〇%向上した。また、高収率・高栄養の優れた〇〇の安定生産を実現し、糖度〇度から〇度、A 級品率〇%から〇%向上した。高品質な農産物を安定的に供給することで取引先や消費者からの信頼を獲得し、地域農産物や食品のブランド価値向上につなげている。販路拡大や販売額増加を通じて、生産者所得の向上や地域経済の活性化に貢献している。 ・AI 制御により、気圧・温度・湿度・光量を常に最適化し、安定した育成環境を維持する〇〇システムを構築した。これにより、管理作業時間を年間〇時間から〇時間へ削減、規格内率〇%から〇%へ達成した。これにより、天候 			

個人記載例①(先端技術の活用、田畑のフル活用)

に左右されない周年供給を実現した。需要者との取引拡大や地域農産物の安定供給につながり、地域農業の収益性向上と産業基盤の強化に貢献している。

【陸上養殖】

・AI/IoT により魚の状態や水温・溶存酸素等の変化を読み取り、自動・遠隔操作で飼育環境の最適化や給餌・掃除を行うシステムを開発した。さらに、〇〇技術や〇〇設計により、飼育環境を維持し、エネルギーコストを〇%削減した。これにより、省力化と安定生産を実現し、気候変動や漁獲量減少といった課題への対応モデルとして、地域の持続可能な水産業の発展に貢献している。

・〇〇システムを開発し、バクテリアを活用した独自の〇〇技術により最低限の換水率で水を循環させながら養殖を行っている。これにより〇〇コストが不要になるため、〇〇代を大幅に削減した。陸上養殖の運営ノウハウや AI・IoT 活用技術について、視察受入や研修会を実施している。年間〇件の視察を受け入れ、地域内外の事業者や新規参入者の育成を通じて、水産業の担い手確保や技術普及に貢献している。

【女性の活躍】

・女性の視点を活かした「〇〇」や「〇〇」のブランド戦略を構築するため女性消費者に訴求する商品企画やデザイン制作に女性を登用した。〇〇など、女性目線の社会的ニーズやトレンドを反映した商品開発に取り組み、令和〇年に販売開始した。顧客展開には、女性が中心となって商談会に参加し、女性らしさを活かした営業トークやプレゼンを展開した。消費者から届く便りはスタッフのやりがいとなり、商品開発にも生かされている。

【田畑のフル活用】

・耕作条件が不利な未利用農地に適した作物を選定し、新たな特産品として生産を開始した。地域資源を活かした付加価値の高い商品開発や直売所や EC サイト、都市部での商談会等を通じて販売拡大に取り組んでいる。さらに、令和〇年から農地の集約化を始めた。生産量を拡大しつつ、加工・販売まで一体的に取り組むことで地域内外の経済循環を創出し、地域経済の活性化に貢献している。

・収穫体験や農業体験イベントの実施、特産品を活用した地域イベントへの展開により地域外の人を呼び込み、農地の有効活用と地域の魅力向上につなげている。これにより、年間来訪者数が当初から〇倍に増加し、農業をきっかけとした交流人口や関係人口の創出につながり、地域活性化に貢献している。

【循環型農業】

・〇〇を育てる上で出る〇〇の処理に苦勞していた一方で、化学肥料などの高騰で地域の農家さんも困っていることを聞き、〇〇を〇〇化して地域の農家さんへ配布することを提案した。農家さんがその〇〇を活用して作った〇〇が再び〇〇一部となり、また〇〇の原料となるという地球にやさしい循環を構築した。

5. 活動実績 (必須)

項目	単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度 (見込み)
生産数	t	12	14	19	25	30	35
	解説:						
6次産業化売上	千円	293,000	380,900	466,044	547,890	587,000	630,000
	解説:						
従業員数	人	30	48(38)	53(40)	60(47)	64(49)	70(55)
	解説:	()内は女性従業員数					

6. 活動の主な変遷 (必須)

初年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度 (見込み)

個人記載例①(先端技術の活用、田畑のフル活用)

6次産業化計画 植物工場設立	〇〇システムを 開発	ドイツへ視察	輸出用〇〇 商品開発	〇〇イベント 開催	〇〇大学と 共同プロジ ェクト計画	ベトナム、オ ーストラリア への輸出
-------------------	---------------	--------	---------------	--------------	-------------------------	--------------------------

7. 今後の展開 (必須)

- ◆〇〇の新展開として、ベトナム、オーストラリアへの輸出事業計画を立案し、輸出する商品を試作している。
- ◆さらに、〇〇農園の推進のため、来訪者増加につながる新たな〇〇計画に着手し、〇〇体験などのイベントにより農業への関心を高めることを計画している。
- ◆また、〇〇大学との連携により、〇〇と通して地域の活性化につなげるプロジェクトの開始を来月予定している。〇〇により農業と地域への貢献を目指している。

8. あなたとあなたが活動する地域の関係団体や関係者との協力・連携の状況について (必須)

- ◆地元の学校での課外学習の受け入れを行っている。夏は〇〇の収穫、選別、パック詰め体験、秋は〇〇の収穫、選別、箱入れなど、季節ならではの体験を用意している。また、自社農園や〇〇県の農業について説明している。
- ◆学生の体験の他、年間〇件のインターンシップや研修、就農希望者の相談対応を行っている。研修参加者のうち累計〇名が実際に就農するなど、地域農業を支える新たな担い手の育成・確保に大きく貢献している。
- ◆〇〇大学との連携により、途絶えていた〇〇祭りを復活させ、地域のにぎわい創出や交流人口の拡大につなげた。これを契機として、大学との連携関係がさらに深まり、新たな共同プロジェクトとして〇〇を計画しており、〇月から事業に着手する予定である。

9. 活動状況がわかる写真、効果を示す図表 (必須)

写真・図表等	写真・図表等
()	()
写真・図表等	写真・図表等
()	()
写真・図表等	写真・図表等
()	()

10. 表彰等の受賞歴 (該当あれば)

個人記載例①(先端技術の活用、田畑のフル活用)

表彰名等（受賞年度）	主催者
第〇回〇〇サミット〇〇賞	〇〇評価会

11. 活動に関するPR・エピソード（自由記入、写真等添付可）

◆デバイスの運用は、ロールモデルを確立し、〇〇を形成したうえで他社と共通条件で競争したいと考えている。自分たちだけでは限界があるため、将来的には、自社農場に見学コースを備え、都市部の人にも来てもらい、実態や魅力を伝えたい。

◆〇〇町はかつて〇〇の産地だったが、生産者の相次ぐ撤退で耕作放棄地が増えていた。「いかにコストをかけずに〇〇を活用する場所を確保するか」を課題と捉え、〇〇農家〇戸から農地〇haを取得し、〇〇を利用した〇〇の栽培へ挑戦した。〇〇システムを導入し、〇〇栽培体制を確立し、新たな地域製品の生産を開始した。栽培した〇〇は「〇〇」と命名し、令和〇〇年に商標登録した。〇〇町を代表するブランド商品として、〇〇で販売するとともに、〇〇株式会社と連携して販路を拡大した。さらに、消費者からの意見を積極的に取り入れながら、商品改良を重ね、現在では「〇〇町といえば〇〇」と認知されるまでに成長している。その結果、売上は〇年間で〇%向上したほか、県外・国外からの視察を受け入れるなど、取組への注目が高まっている。耕作放棄地の活用と地域ブランドの確立を両立したモデルとして、〇〇システムの普及・展開にもつながっている。

◆AIによる生育診断、環境制御システム、ドローン、衛星データ等を活用したスマート農業を実践している。これらの取組について、全国の生産者、自治体、農業高校、大学等からの視察を受け入れ、導入経緯や運用方法、導入効果などを紹介するとともに、実機によるデモンストレーションや意見交換を実施している。また、視察内容をSNSや動画を通じて発信し、〇〇技術の普及にも取り組んでいる。

12. 応募いただいた連絡先に、今後、農水省より各種施策等に関する情報をお知らせする場合があります。希望する場合は右の□に✓をご記入ください。	情報を希望する <input type="checkbox"/>
--------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------